



唐津
STEAM
DAY!!
2023
KARATSU
RETURN PROJECT

唐津Returnプロジェクト

唐津STEAMday!!2023夏 イベント報告書

2023年9月

次世代を担う子供たちのクリエイティブな発想・好奇心を育て、社会課題解決を実践できる人材へ育てるきっかけづくりのためのイベント、唐津STEAMdayイベントを開催しましたので、ご報告いたします。

第二回目の取り組みとなる今回は唐津市加唐島の地域資源活用をテーマに、デザイン思考とプログラミングを活用し、唐津の中高生25名10チームが解決策を制作し、本番イベントにてプレゼンコンテストを実施しました。

■ イベント概要

唐津の企業と地元中高校生有志メンバーがコラボしたプログラミング×企業課題解決プロジェクトの発表会を実施

■ 実施期間

2023年6月 参加者募集

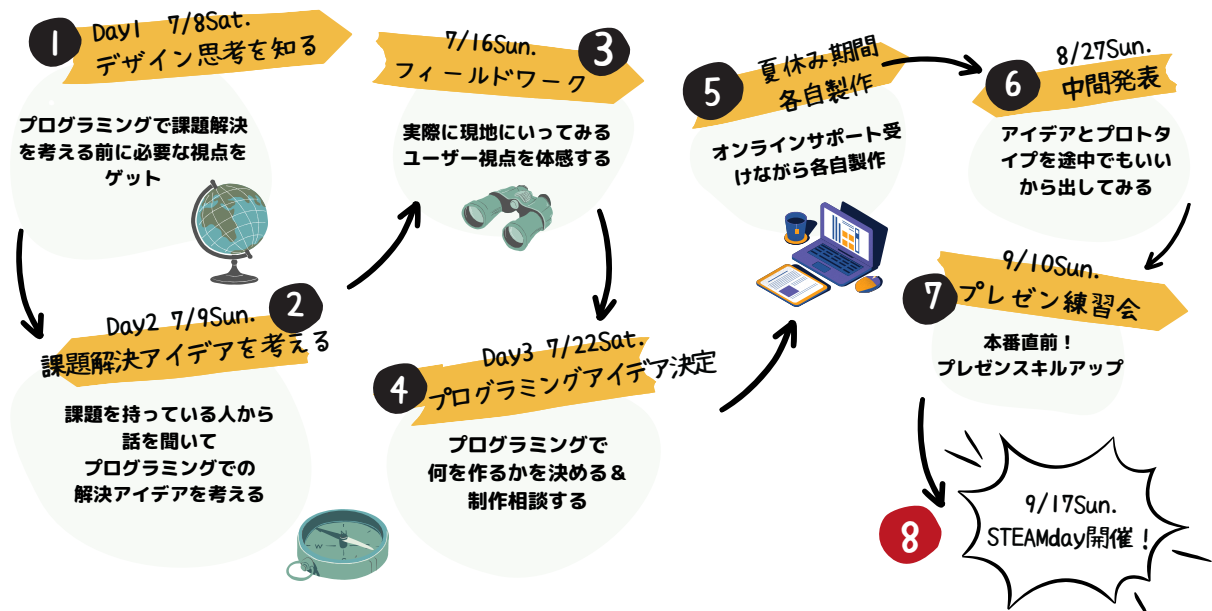
2023年7月 集合プログラム（3日間）、加唐島フィールドワーク

2023年8月 制作期間（オンライン）、中間発表会

2023年9月17日（日） プレゼン練習会、発表イベント

唐津STEAMday!!2023夏 中高生プロジェクトスケジュール全体

オンライン（Discord）上で大学生サポーターが都度伴走しながら進めます！



■ 課題テーマについて

第二回目のテーマは「地域資源の活用」唐津市加唐島を舞台に新しい価値を生み出すしくみは何があるか？バース・プランニング松尾さんが加唐島の椿で創り出した新しいユーザー価値消費者・生産者・地域の人に届けたい！どんなしくみがあるか、各チーム1つの視点を選択し、独自の解決アイデアをプログラミング制作しました



■ コンテスト（アワード）について

3つの観点で高得点チームを表彰

✓チャレンジ賞：

仮説を立てて、アクションと失敗を繰り返しチャレンジしている。ポテンシャルを有している

✓ユーザー価値賞：

具体的なユーザー(ターゲット)を想起し、そのユーザーにとっての価値を追及して考えている

✓テクニカル賞：

機能性・実装が優れており、作品制作にあたって高度な技術と知識を有している

■ コンテスト審査員 ■

中村 俊介
株式会社しくみデザイン
代表



小田切 裕倫
株式会社CHALLITE 代表
株式会社GBPラボラトリーズ
副代表理事



丸尾 聡
事業構想大学院大学
教授



■9/17(日) イベント（プレゼンコンテスト）

イベント名	唐津 STEAM day!!2023夏 ～自分のわくわくを見つけよう～
日時	2023年9月17日(日)
場所	KARAE内シアターENYA(唐津市京町1783)
実績	来場者34名、プロジェクト参加中高生25名 YoutubeLIVE閲覧数 335回（事業期間終了時） ※第一回目のワークショップ実施をしなかったため来場者はシアターエンヤ内のみ
関係者	主催：唐津Returnプロジェクト 共催：唐津商工会議所 後援：唐津市 唐津市教育委員会 独立行政法人中小企業基盤整備機構 協力：(株)バース・プランニング 代表松尾様 TIP*S（中小機構東京本部様、MAHO-LA CREATIVE株式会社 代表櫻井様） 協賛：ホンダカーズ佐賀様、株式会社Cygames様、株式会社ANDCO様、松浦通運株式会社様、木村情報技術株式会社様、唐津ビジネスカレッジ様、山下正美様、唐津情報都市推進協議会様、株式会社ソアー様

※下記YoutubeLIVEのアーカイブより当日の様子が視聴可能

<https://youtube.com/live/1Urk0jP8la0?feature=share>

サガテレビで取材をしていただきました

<https://www.sagatv.co.jp/news/archives/2023091914374>

イベントの目的・活動の狙いと成果

01 地方の認識格差をなくし、チャレンジする場を提供し未来の人材を育てる

目的

地方の情報格差をなくし、失敗を恐れずに新しい価値を創造できる人材へ子供のクリエイティブな発想・好奇心を育て、社会課題解決を実践できる人材へ

成果

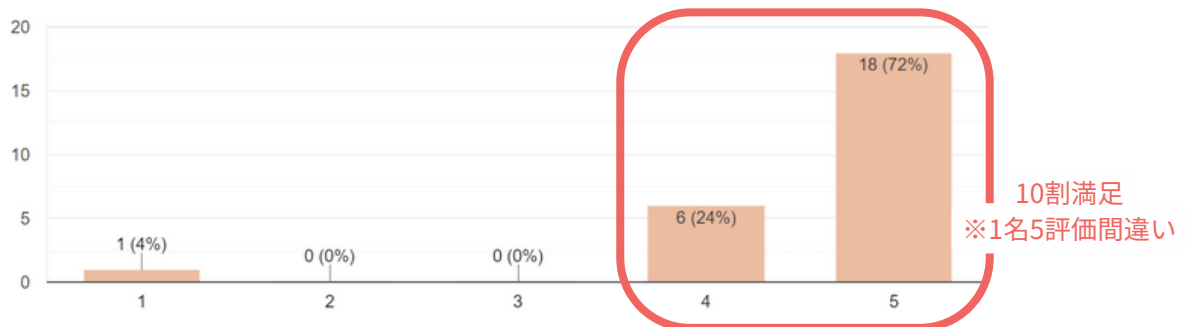
第一回に引き続き、デザイン思考やプログラミング思考・技術などビジネスでも使われている手法を学ぶ場を提供することで参加中高生が気づきや学びを得ることができた。また当日コンテストで発表する機会を用意し自身の学びをプログラミング作品やアイデアとしてプレゼンでアウトプットすることで、自ら唐津の課題解決を実施するチャレンジの場としての効果が得られた。

今回チャレンジした参加中高生たちの学校を超えた同志の輪ができ、今後唐津中高生のチャレンジのコミュニティとして形成の可能性あり

※下記参加者アンケート結果：5段階評価で高評価(1名1評価なのは5の回答間違い)

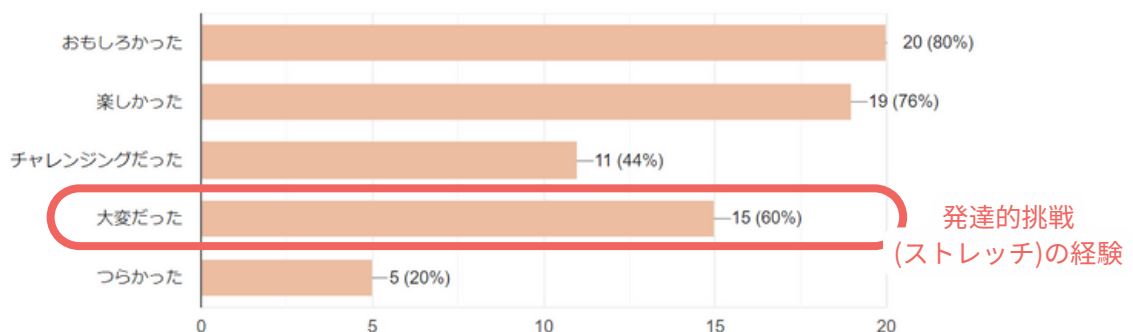
25件の回答

唐津STEAMdayイベントに参加してみた満足度



25件の回答

唐津STEAMdayイベントに参加してみた感想



<参加者感想(原文通り)>

- ・自分が知らないことをたくさん学ぶことができたから。できれば、もっとたくさんのことを学びたい。
- ・普段出来ない貴重な経験だったから。
- ・とてもいい経験になったし色々な出会いがあってとても楽しかったからです。
- ・色んな人と繋がったり出来たから
- ・貴重な経験と仲間が増えたことがとても嬉しかったです！
- ・とても充実した3ヶ月だった！

イベントの目的・活動の狙いと成果

02 「スタートアップ五か年計画に資する活動」としてのアントレプレナーシップモデル

目的

プログラムの一環としてデザイン思考のワークショップを中高生向けに実施
中高生がビジネスで使う思考法を興味深く学び、プログラミングでプロトタイプを作りそれらを実践するアントレプレナー育成のモデルを実践

成果

- 「スタートアップ五か年計画に資する活動」として、唐津商工会議所および中小機構九州本部創業支援担当様の全面バックアップを頂いた。
- 認定連携創業支援等事業者である商工会議所様に共催を頂き、中小機構東京本部様による創業機運醸成イベント開催支援（TIP*S）を活用。MAHO-LACREATIVE株式会社代表櫻井亮先生（<https://www.mahola-c.com/profile/>）をお招きし、唐津STEAMdayに合わせたプログラムを構成していただき、デザイン思考のビジネスワークショップを中高生向けに実施。その後の地域課題解決アイデアにおいて中高生25名10チームそれぞれがビジネスで使う思考法を興味深く学び、プログラミングでプロトタイプを作り、最終発表までやり遂げた。
- これは、現在の未来が予測不可能な時代（VUCA時代）におけるビジネス手法の一つとして注目されている「アジャイル」と同様の考え方を取り入れたプログラムとしており、本イベントでは2か月半という短期間でそれらを実践していこうとする姿、プロセスに次世代育成のモデルとして価値があるといえる。
- また、中小機構九州本部様からも「地域課題解決を学んでアイデアを発表するプログラムはよくあるが、自らプログラミングのスキルを会得し解決策まで作成して提案する、ここまで取り組むプログラムは九州でも聞いたことがない」とご評価をいただいた。
- 佐賀大学からも同様のプログラムで学内創業支援プログラムとしての実施オファーを頂いている。

▼集合プログラム

DAY1～DAY3



▼TIP*S(※)ワークショップ

櫻井先生デザイン思考ワークショップ



※唐津商工会議所様共催のもと、中小機構が運営する新しい学びのTIP*Sのワークショップを実施

イベントの目的・活動の狙いと成果

03 長期目線での地域の強い(関係)人口増加にも資する活動

目的

- ✓地域課題に関して学校で学ぶ機会はあるが、中高生の時期に自分たちが住む地域を深く知る・学ぶだけでなく、「自らが地域の解決策を形にする経験」を得ることで地域を自分ごと化する経験になる
- ✓将来地域を離れても、自分のひとつの経験値として残るため強い関係人口となる可能性が高い

成果

- 第二回開催の今回は地元出身の中高生の参加が半数、唐津外出身者が半数での参加（唐津東、早稲田佐賀、唐津商業、唐津一中・鏡中の生徒）
- 本イベントの課題テーマは地域に関係するものを設定。今回の課題テーマとして「唐津市の離島 加唐島の地域資源を活用した新しい価値を伝える」を設定。地域力創造アドバイザーの(株)バース・プランニング代表 松尾様にご協力をいただき、地域資源を活用して新しい価値を生み出すまでの実際の苦労やチャレンジについて参加者の中高生向けにお話しいただいた
- フィールドワークのプログラムを設け、参加者で実際に加唐島を訪問し、島民や生産者へインタビューを実施。離島の課題や椿油を生産している想いなど生の声を直接参加者が主体的に聞く機会を設けた（インタビュー設計研修についてもDay1のプログラムにて実施）
- 上記のプログラムを通して、自分たちが感じた地域資源の活用をすることの価値は何なのか、自分たちが解決したい課題は何かを各チーム各個人で想いを固め、与えられた課題を自分事化するプロセスを実施
- 離島の課題解決を自分事化できないという理由で辞退者(1名)もいたが、本プロセスを経た効果だと捉えている。また、再度自主的に加唐島に訪問したり松尾さんに追加のインタビューを実施するチームもあった。
- 課題テーマを自分事化し解決アイデアを考え、それをプログラミングで形にする一連のプロセスを経ることで、中高生の生の経験値とすることができた

▼加唐島でのフィールドワーク



イベントの目的・活動の狙いと成果

04 次世代人材育成に興味がある事業者の連携をスタートさせることで地域全体の人材育成環境の充実化を図る

目的

- ✓本イベントに協力・共感いただける団体・企業を募集し、今後お互いに連携していくことで、次世代型の人材育成に興味をもつ子どもたちのイベント後の受け皿をつくっていく体制を整え、選択肢を広げる
- ✓本イベントはきっかけづくりを目的としている為、その後の連携先・チャレンジを続けるコンテストなどにつなげていき輪を広げる

成果

- 中高生の次世代人材育成に興味のある唐津地元企業（松浦通運様、唐津情報都市協議会様、唐津ビジネスカレッジ様など）からイベント支援を頂き、教育関係だけではなく次世代ビジネスを担う若手人材育成としての連携スタートを切ることができた
- 唐津市教育委員会生涯学習文化財課、唐津市商工振興課からもご興味を頂いた（最終コンテストへもご来場いただいた）
- 唐津市以外の手企業であるCygames様やANDCO様、木村情報技術様からの活動のご支援や、佐賀県庁、福岡市役所からも興味を持っていただき唐津市外からの注目を集めることができた（Cygames様は第二回イベントも当日に東京本社より視察に来ていただく。また、10月にCygames様が本イベント参加者向けに特別に佐賀デバックセンターの見学やセンター長からの講話を頂く予定）
- 本イベント参加者より、唐津市主催のビジネスプランコンテストWILL Projectへの応募者を輩出した（8名、2チーム）

本活動の今後の課題

- 取り組みの認知、周知（中高生の参加者募集等）
- デジタル環境の整備（中高生が自由に使えるPC環境が未整備）
- イベント参加後の継続的なフォローアップのしくみ（コミュニティ化、ビジネスコンテストやプログラミングコンテスト等への支援など）
- 持続可能な実行体制（対象範囲、参加人数、実施内容、支援団体などの内容・体制整備）
- 次世代人材教育に興味関心がある事業者、自治体の連携

最終プログラミングコンテスト模様



▼アワード受賞者



お問い合わせ先

唐津Returnプロジェクト

共同代表：田中綾・小山直子

📍 住所：佐賀県唐津市京町1783 KARAE 2F

☎ 携帯電話番号：090-4708-8075（担当:小山）

✉ メールアドレス：karatsu-return@googlegroups.com

🌐 サイト：<https://www.return.glabit.org/>

地方で育つ子どもたちの経験へのアクセスの格差を減らし、“創造力豊かな”こどものうちにたくさんチャレンジする環境を整えるべく立ち上げた任意団体です。

各チームアイデア

チーム名	学校	学年	人数	タイトル	アイデア概要	アワード
東の鉄壁	唐津東中学校	3年	2	あつまろう加唐島	ユーザーが加唐島に来て椿農業のお手伝いするストーリーのゲーム フィールドワークで実際に加唐島に行った際、島の方たちが島にたくさんの方が来て欲しい、椿農家を継いで欲しい、とおっしゃっていたことがとても印象に残りました。そこで島に多くの人を呼ぶことに焦点を当て、そのような思いがある生産者の願いを叶えるための、起業したい地域の方向けのゲームを考えました。	
サガンワセダ	早稲田佐賀高等学校	1年、2年	3	「中学生への加唐島」	加唐島の課題を「跡継ぎ問題」と設定しました。その課題解決として若い人材の育成をターゲットとし、SNS利用者・都会に住む中学生に向けたプロモーション動画を制作。学校の授業やテレビやYouTube等のメディアで流すことを想定	
ZGT	唐津市立鏡中学校 佐賀県唐津市立浜玉中学校 唐津第一中学校	2年、3年	3	～加唐島 椿の花の行方～	加唐島の椿があまり知られていない。それなら私なら何パーセントかオフにして売ります。しかしその分椿を取っている人のお給料が下がると私たちは考えました。だから私たちの目標はとにかく加唐島について知ってもらいたいというのが目的です。これを実行するために加唐島の椿をモチーフとしてゲームを作りました。	テクニカル賞
Whats	早稲田佐賀高等学校	2年	3	デジタルデバイスによる化粧品PR	加唐島でのインタビューを踏まえての潜在ニーズは、どのような人が買っているのかを知りたい・若い人の意見を聞いてみたいというもの。どこで商品を目にする可能性があるか考えたときに私たちはドラッグストアでのPRに着目しました。しかし現状のドラッグストアの棚から商品を見つけ出してもらうのは難しい、そのためドラッグストアに設置してある商品紹介用のタブレット端末でのPRを考えました。	
プケプケ	佐賀県立唐津商業高等学校	2年	2	椿と肌と診断サイト	自分自身が高校の同級生から肌の悩みを相談されたことをきっかけに、肌が弱くて敏感すぎる体質向けの手助けをしたいと考え、男子高校生向けの肌診断サイトを作成。男子高生が化粧品にかかる金額は少ないが、本当に価値があるのであれば買うと考えた。商業の保健だよりも載せてもらって使ってもらえる男子高生を増やしたい	来場者票最多

各チームアイデア

チーム名	学校	学年	人数	タイトル	アイデア概要	アワード
雛ヶ丘	唐津東中学校	3年	2	はだログ	今回のテーマを考えたときに、私たちはオーガニックコスメを使う人が増えれば地域資源活用したコスメを使う人が増えると考えました。20代をターゲットとし、肌をきれいにしたいという人は肌に自信を持ちたいという潜在ニーズがあると考え、私たちは美容において楽しく肌をきれいにし、自信をつけることができる肌ログアプリを作りました。	
たもひさ	唐津東高校	1年	2	加唐島伝説～ 椿油を求めて～	消費者に椿油の良さを知ってもらい、使ってもらいたい。松尾さんにインタビューすると、商品のターゲットは、ナチュラル思考の人。ナチュラル思考の人に、手に取って使ってもらうことが必要。ナチュラル思考の人の潜在ニーズは「慎重・安心感が欲しい」と考え、親しみやすさ、助けたくなる気持ちの情緒的価値を提供できる松尾さんの「椿油ストーリー」をアニメーションを制作。消費者に椿油の良さを知ってもらい、使ってもらいたい	チャレンジ賞
青鷺	早稲田佐賀高等学校	2年	2	present for you	地域の課題を解決したい！と思ったことはありますか？行動したことはありますか？そもそも、地域の課題をどれほど知っていますか？ここで、行動したことがある！という人は少数派ではないでしょうか。そのため私達はまず、行動に移してもらうのではなく、「そもそも地域がどんな課題を抱えているのか」について知ってもらうことが大切だと思いました。今回の主なターゲットは、TBKの使用層である30～40代女性です。主にこの人たちに、TBKの商品を引き合いに出して加唐島やそこで取れる椿について知ってもらおうと考えました。そこで、このアプリ「present for you」を提案します。	ユーザー価値賞
チーム SATORU	早稲田佐賀高等学校	1年	3	椿求めて三千里	椿を入手することを目的とした、シューティングゲームを制作。加唐島に生息する生物が登場。椿油についての説明を入れながら、ゲームが進行する。「楽しみながら、加唐島を知る」がキャッチコピー。この作品の目的は加唐島、そしてそこで生産されている椿油のことに興味を持ってほしい！椿油のみでなく、加唐島そのものの知名度を上げること。加唐島に行く観光客や、肌が荒れやすく、ゲームをする人が多い子供をターゲットにする。	
どら焼き3人組	早稲田佐賀高等学校	1年	3	「椿アンケート」	生産者に消費者の声を届けるにはどうするか？店舗販売 12店舗、ほとんどのユーザーがオンラインショッピングのため、QRコードを使ったアンケートを制作。アンケートに加唐島要素を加えた	

唐津STEAMday!!

2023夏

～自分のわくわくをみつけよう～

2023.9.17SUN 13:00~16:00

場所：KARAE内シアターENYA（唐津市京町1783）

プログラミング × デザイン思考

中高生25人が
課題解決に挑戦！

第二回目のテーマは「地域資源の活用」
唐津市加唐島を舞台に
新しい価値を生み出すしくみは何があるか？
各チームが自分たちで考えたアイデアを
プログラミングで制作し、プレゼンします！



- プログラミングコンテスト詳細 -

■ アワード ■

テクニカル

チャレンジ

ユーザー
価値

■ コンテスト審査員 ■

中村 俊介
(株)しくみデザイン
代表

小田切 裕倫
(株)CHALLITE 代表
(社)GBPラボラトリーズ
副代表理事

丸尾 聡
事業構想大学院大学
教授



協賛

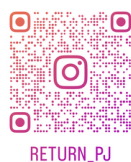
株式会社Cygames
松浦通運株式会社
プログラミングスクールGLaBiT.

木村情報技術株式会社
唐津ビジネスカレッジ
山下正美様

▼会場観覧申込（観覧無料）



※当日観覧可能ですが、お席に限りがあるため
事前申込の方を優先とさせていただきます
※当日Youtubeライブでも配信を予定しています



follow me!

当日Youtubeライブ配信を
お知らせ予定
今後の活動情報も発信

主催：唐津Returnプロジェクト
共催：唐津商工会議所
後援：唐津市 唐津市教育委員会
独立行政法人中小企業基盤整備機構
協力：(株)バース・プランニング 松尾様
問合せ：唐津Returnプロジェクト
<https://www.return.glabit.org/contact>



※この事業は、唐津市がんばる地域応援事業補助金を受けて実施されています。



Programming Contest

PROGRAM & SPEAKER DETAILS

2023.9.17 SUN

13:00	オープニング イベント紹介、審査員紹介、アワード紹介		
13:10	課題テーマ紹介「地域資源を活用した新しい価値を伝える」 株式会社バース・プランニング松尾様		
	中高生プロジェクト発表（前半）※1チームプレゼン5分+質疑応答		
	(チーム名)	(学校名・学年)	(タイトル)
13:25	1.東の鉄壁	唐津東中学3年	「あつまろう加唐島」
~	2.サガンワセダ	早稲田佐賀高校1年/2年	「中学生への加唐島」
14:15	3.ZGT	一中2年/鏡中2年/浜玉中3年	「~加唐島椿の花の行方~」
	4.WHAT's	早稲田佐賀高校1年	「デジタルデバイスによる化粧品PR」
	5.プケプケ	唐津商業高校2年	「椿と肌と診断サイト」
— 休憩10分 —	中高生プロジェクト発表（後半）※1チームプレゼン5分+質疑応答		
	(チーム名)	(学校名・学年)	(タイトル)
14:25	6.雛ヶ丘	唐津東中学3年	「はだログ」
~	7.たもひさ	唐津東高校1年	「加唐島伝説~椿油を求めて~」
15:15	8.青鷺	早稲田佐賀高校2年	「present for you」
	9.チームSATORU	早稲田佐賀高校1年	「椿求めて三千里」
	10.どら焼き3人組	早稲田佐賀高校1年	「椿アンケート」
— 休憩5分 —	企業紹介、活動紹介、応援コメント紹介など		
15:20	アワード発表		
15:35	チャレンジ賞	株式会社Challite代表 小田切様	
	ユーザー価値賞	事業構想大学院大学教授 丸尾様	
	テクニカル賞	しくみデザイン代表 中村様	
15:55	総評 独立行政法人中小企業基盤整備機構 九州本部 梅田様		
16:00	クロージング		



@RETURN_PJ

Follow us!